

第6章 リーディングプログラム

観光振興ビジョンの具体化に向け、第5章に示した基本方針に係る施策をリード(牽引)するためのプログラムとして「アイ・リンクタウン展望施設の活性化」を設定します。

▼ 該当施策

基本方針1 地域ごとの魅力磨き上げと市川ブランドの確立

施策04： 核・拠点となる観光資源の選定



アイ・リンクタウン展望施設

- I-link タウンいちかわ ザ タワーズウエスト 45 階にあるアイ・リンクタウン展望施設は、施設からの眺望を新たな観光資源として市内外に広く PR し、観光客の誘致と地域の活性化を図ることを目的に、平成 21(2009)年 10 月 10 日に開設した施設です。
- 45 階へは 3 階から直通の展望エレベーターを利用していただき、昇る瞬間から展望施設での景色に期待が持てます。
- 45 階は、天井高の開放感ある展望ロビーがあり、市内や都内を一望することができます。当施設は、回廊型の造りとなっていますので、360 度の眺望をご覧になれます。
- 46 階では屋外に出ることができ、晴れた日は江戸川を渡る風を感じながらの眺望を楽しめ、夜には夜景 100 選に選出されたすばらしい夜景を眺めることができます。
- 施設内に設置しているアイ・リンク情報コーナーは、市内の物産品や観光名所についての情報が、通年、季節ごと、月別で紹介されており、訪れた方に市の観光を幅広く案内しています。
- 同コーナーでは、物産の販売も行っており、ドリンクを飲みながら市内の遠景を楽しめるカフェスペースも完備されています。

豆知識

タウンネーミング「I-link タウンいちかわ」は、平成 17(2005)年 12 月に一般公募し、応募の中から選定されました。

「I」には、私の「I」、市川市の「I」、出会いの「I」、愛するの「I」の意味が込められており、私(市民)、市川市、そして様々な人々が「駅前」で出会い、交流(link)し、市川市の自然・歴史・文化を継承しながら暮らす、皆様から愛される街を目指していきます。

求められる役割



ランドマーク

ワークショップの中でも意見が出てきたとおり、市川市といえば「〇〇」という、ランドマークになる施設がないという印象を多くの人が持っています。

そこで、市の知名度をあげるため、市川市を知ってもらうきっかけとなるための象徴となる施設が必要です。



情報発信拠点

市内観光を案内する「いちかわ観光物産インフォメーション」は、「観光資源が知りたい」という目的で訪れる施設ですが、そうした積極的な来訪者以外にも、ふらっと立ち寄った人が偶然情報に触れて興味を持つ機会も重要です。

そこで、市川市に興味を持ってもらい、もう一足伸ばしてもらうきっかけを生み出す情報発信拠点が必要です。

選定理由

求められる役割等から以下のメリットがあるため、アイ・リンクタウン展望施設をリーディングプログラムに位置づけました。



視点：ランドマーク

- ◆ 高層からの眺望を楽しむことができる数少ない施設である
- ◆ JR市川駅からのアクセスが抜群であり、他の観光スポットと組み合わせることで、市内観光の周遊性を高めやすい
- ◆ 学生など多くの若年層や、都内通勤者を誘客しやすい立地であり、絶景を眺めながら休憩・安らぎを感じるスポットである



視点：情報発信拠点

- ◆ 市内屈指の来場者数を誇る施設である
- ◆ 昼夜を問わず誘客が可能であり、眺望を活かした情報発信が期待できる
- ◆ 写真映えする絶景を撮影できることから、来館者が写真・SNS等を通じてその感動を共有し、更なる情報の拡散が期待できる

将来像

当リーディングプログラムとして実現したいアイ・リンクタウン展望施設の将来像

1 より眺望が楽しめる施設

2 居心地よい空間の提供

3 情報発信の強化

4 他の観光資源との連携



※イメージ図となります。

地域別プログラム

市内各地の観光資源を磨き上げる一環として地域別プログラムを設定し、各地域の魅力発信の強化と周遊性の向上を図ります。また、アイ・リンクタウン展望施設での情報発信を通じて、市内中心部から各地域への誘客の流れを創出します。

▼ 該当施策

基本方針1 地域ごとの魅力磨き上げと市川ブランドの確立

施策01： テーマ、地域、季節、属性別のプログラムづくり、
魅力の磨き上げや見える化

● 北東部:「また来たい!」と思える自然散策ルートの提案

市内でも多くの自然が残されたこの地域では、子育て世帯が楽しめるレジャー施設や、梨などの農産物を楽しむことができます。市内在住の親子連れや近隣市居住者が、地域とのつながりを感じられるスポットとなるように、観光資源の磨き上げと情報発信を図ります。

取組例

- ・自然をテーマとした、市川市動植物園や大町レクリエーションゾーンを中心とする周遊ルートの情報発信
- ・梨などの農産物における観光コンテンツの磨き上げ
- ・各施設、観光資源へのアクセスに関する情報発信の拡充

● 北西部:歴史と自然とが織りなす「国府のまち」のPR 促進

かつて国府が置かれたこの地域では、万葉和歌に詠まれたスポットや、歴史の深い神社仏閣が残されています。また、都心に近いながらも安らぎを感じる自然が残されている特徴を活かし、「都心にはない魅力」を堪能できる地域を目指します。

取組例

- ・歴史や文化をテーマとした周遊ルートの情報発信
- ・学生を呼び込んだお祭りやイベントの受入体制の整備
- ・水と緑を結ぶ周遊ルートの情報発信

● 中部:「市川市のコンシェルジュ」としての機能強化

都心からの抜群なアクセス性を活用し、市川市の玄関口として情報発信の強化を図ります。また、歴史や文化人ゆかりの地、ショッピングやグルメを堪能できる多彩な魅力がある地域として、観光コンテンツをブラッシュアップします。

取組例

- ・歴史や文化からグルメ、ショッピングまで、幅広い観光コンテンツの磨き上げ
- ・学生を呼び込んだお祭りやイベントの受入体制の整備
- ・都心からのアクセス性を活かした情報発信拠点の強化

● 南部:寺町通りを中心とした歴史・伝統とお祭りへの参加促進

かつて成田山参詣に利用された行徳街道を中心として、貴重な文化財や史跡、伝統的工芸品などが残された地域です。歴史や伝統、寺町の景観や地域に根差したお祭りといった観光資源への理解を深め、地域住民や来訪者がともに盛り上げていくコミュニティを維持・活性化します。

取組例

- ・寺町通りに根差した歴史や伝統の魅力発信
- ・お祭りを活用した地域への理解の促進
- ・来訪者や在住外国人など新たな観光の担い手の受入体制強化